



建設コンサルタント協会（建
コン協）九州支部（福岡市中央区の
部長）は9日、福岡市中央区の
天神スカイホールで「夢アイデ
ア交流会2017」を開いた。
第15回まちづくりに関する提案
募集の応募作品のプレゼンテー
ションが行われ、学生や市民が
まちづくりのアイデアや夢を披
露。最優秀賞に「いつまでも自

最優秀に徳永佳子さん

宅で元気に暮らすために、便
器のないトイレ?」につい
て発表した徳永佳子さんが選
ばれ、表彰された写真。

約150人が参加。開会に
当たり福岡支部長は「一緒に
楽しい時間を過ごして、この
場を出てからもその夢がだん
だん大きく膨らむ、ブレーク

最優秀賞に選ばれた徳永さん
は介護の経験を踏まえ、要介護
者の自力での排せつをサポート
するため、便器が壁に格納され、
格納庫内で便器を丸ごと洗浄・
殺菌できる全自動ビルトイント
イレを提案した。

このほか「お国自慢交流会を、
老人会の方々を対象に開催す
る」について発表した耿舒圓さ
ん、筑後川河川敷を交流の場と
して活用する「ちくごプラージュ

ていくためにどうしたらいいか
というアイデアがたくさん出
た。頼もしい」「受賞者の言葉
には力があつた」などと講評。
玉川孝道審査委員長は「身近な
課題を深く受け止め、そこから
夢を描いていることに感服し
た」と述べた。

建コン協九州夢アイデア交流会開く

スルーしていく契機になるこ
とを祈念する」とあいさつし
た。

プレゼンテーションでは応募
36作品の中から1次審査で
選ばれた10作品の提案者が国
際交流や環境保全、子育て支

援など幅広い分野の夢やアイ
デア、思いを披露。今回初めて
外国人留学生も発表した。

審査結果の発表後、審査委員
らは「日常生活の中から社会を
変えていくアイデアが出るのは
素晴らしい」「地域とつながっ
ていくためにどうしたらいいか
というアイデアがたくさん出
た。頼もしい」「受賞者の言葉
には力があつた」などと講評。
玉川孝道審査委員長は「身近な
課題を深く受け止め、そこから
夢を描いていることに感服し
た」と述べた。

「九州まちづくりプロジェクト」による宮崎県西米良村での
アルバイト体験の活動報告と意
見交換も行われ、登壇者からは
大学への情報発信の強化が必要
とする指摘や継続的な支援を求
める意見が出た。

表彰式で徳永さんは「メーカ
ーや建設関係でタッグを組んで
もらい、これから実現するとい
う次の夢を見せてもらいたい」
と喜びを語った。

交流会では夢アイデアの実現
をサポートする大学生グルー
プ「九州まちづくりプロジェクト」による宮崎県西米良村での
アルバイト体験の活動報告と意
見交換も行われ、登壇者からは
大学への情報発信の強化が必要
とする指摘や継続的な支援を求
める意見が出た。